

家庭教育講演会

▼問い合わせ 学校教育グループ ☎079(435)0545

今なら間に合います！

元気がでる子育て

1月16日(土)、中央公民館で家庭教育講演会が開催されました。約200人の保育園・幼稚園・小・中学校の保護者及び教職員が参加し有意義な時間を過ごしました。

今年度はNPO法人被害者ごころの支援センターえひめ顧問で、臨床心理士の紅谷博美氏に『今なら間に合う！元気がでる子育て』という演題でお話を伺いました。

「今の子どもたちには自己肯定感があるのでしょうか。また、大人たちは子どもたちに自己肯定感を持たせるような接し方をしているのでしょうか」

この大きなテーマについて、紅谷氏にヒントをたくさんいただきました。その一部をご紹介します。

子どもたちは、自分が必要とされていることに気付く、適切な評価を受けることで自尊心

(自分を大切に思える感情)を持ち、「よし。がんばろう！」という意欲にもつながります。私たち大人が、子どもに対して否定的な言葉(たとえば、「出て行って」や「〇〇ちゃんは勉強よく頑張っているのに、あなたは…」など)を浴びせられた子どもは、自分を大切に思えず、意欲も失われていきます。そうすると、子どもたちは、「自分はここにいない。認めてほしい。自分を見てほしい」という思いから、いわゆる問題行動を起こすことになりかねません。ここでいう問題行動とは、「問題提起行動」です。子どもにとつてどんなことが問題であるか大人に提起し

ているのです。その提起された問題に大人が気付く早く対処しなければなりません。逆に子どもの様子をしっかりと把握し、頑張り認められ、ほめられれば「いつでも自分のことを見てもらっている。認められている」と思え、子どもたちの意欲にもつながります。

子どもたちを体や心、言葉で「抱きしめる」ことの大切さを再確認した講演会でした。



▲講師の紅谷博美氏

参加者のアンケートより

- ・子どもの悪いところ、できないところばかり気になつていました。生まれてきたことだけですごうれしかったことを思い出しました
- ・子育ては親育てだとずっと思っています。これから子育てしながら自分自身子どもに育ててもらおうと思つていきます
- ・つい子どもに「どうせ〇〇だから」と言っていることを反省し、決めた言動を反省し、ほめることにもつとめていきたいです
- ・演題の通り「今なら間に合う」でした。さっそく帰ってから実行しようと思いました

今の子どもたちには自己肯定感があるのでしょうか

播磨幼稚園

協同的な遊びを通して

生きる力の基礎をばぐむ

本園では、友達と思いや考えを出し合いながら、一緒に生活する楽しさや共通の目的に向かって力を合わせ達成した喜びが感じられるよう、個や集団に応じた援助に努めてきました。

本年度の主な取り組みの成果

- 安心できる雰囲気づくり
 - ・様々な人々と心ふれ合う時間を大切にすることで、人に対する信頼感が育っています。
 - ・幼児のありのままの姿を受け止め、良さを認めていくことで、自信につながってきています。
- 遊びの場の工夫
 - ・同じあてをもつて取り組んだり、イメージを共有したりできるような場を工夫をしたことで、友達同士や集団で遊ぶ姿が多く見られます。

・協同的な遊びの中で、自分の思いや考えを言葉で表現することや相手の考えを聞くことの大切さを知らせ、力を合わせてやり遂げたことを認めていくよう努めました。その結果、互いの考えを認め合い、言葉を使つてのコミュニケーションが増えてきています。

今年度は、耐震工事のため2学期のほとんどを播磨小学校で過ごしました。小学校でもいろいろな人との出会いがあり、貴重な経験ができたと思

います。今、子どもたちは新しくなった幼稚園で、友達と考えを出し合いながらのびのびと生活しています。今後も、地域の幼稚園として信頼される園づくりに努めます。地域の皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

http://www.town.harima.lg.jp



蓮池幼稚園

家庭との連携を基に

基本的生活習慣の確立を目指して

幼児の体と心の成長にとって重要な生活リズムである寝る・食べる・遊ぶを通して、基本的生活習慣の確立を目指し取り組んできました。発達段階に合った様々な直接的、具体的な生活体験を通して、園と家庭と連携を図りながら、生活習慣が身に付くよう進めてきました。

そして、共に育ちあつた子・親・教師を目指し、努めてきました。

本年度の主な取り組みと成果

○基本的生活習慣の指導計画の見直しと改定

・挨拶をする、交通ルールを守る等指導計画の中に、目標や具体的内容を発達段階を明確にして取り組み、指導力を高める実践をしてきました。

・全職員で共通理解を図りながら指導にあたり、幼児が進んでしようという意欲につなげていきました。

○**掲示板利用で保護者への様々な子育て情報の発信**

・幼児や園の実態から、月の目標・食育・情報等掲示することで保護者との連携を深めることにつながりました。また、園と家庭とが同じあてをもつて取り組むことができ、基本的生活習慣が定着しつつあります。・幼児にも理解できることばや写真を取り入れることで、幼児と保護者と一緒に楽しんで掲示板を見ている姿が見られ、ふれあいや家庭での子育てにつながりました。

・学校評価を生かし、子育て相談の日[®]を開設、保護者と気軽に話し合える信頼関係づくりにつながっています。

今後も保護者や地域の皆さま、学校園との連携を大切に図りながら、幼児一人ひとりの育ちを共に支え、幼児教育の充実に向けていきたいと思つています。



播磨西幼稚園

幼稚園と家庭との連続した生活の中で

育つ子育て

本園では、幼児における基本的生活習慣の確立を目指し、家庭・幼稚園・地域・関係機関と連携を図り、豊かな心と元気な体の幼児の育成に努めてまいりました。

本年度の主な取り組みの成果

○基本的生活習慣や態度の確立

基本的生活習慣の形成においては、家庭での生活経験や習慣に配慮しながら、あいさつや生活習慣など、家庭と幼稚園が連携を図り同じ思いで取り組むことで定着してきています。

○箸の扱い方における食育実践

保護者の90%の人は正しい箸使用の必要性があると感じています。そこで、家庭との連携を密にし、先生や友達と一緒に楽しみながら正しい箸使用が無理なくできるように取り組んできました。年度当初には、5歳児でほぼ伝統的な正しい箸使用ができていた幼児が12人(27・9%)、独自の持ち方で使っている幼児が31人(72・1%)という実態がありました。

継続して取り組んでいくうちに幼児自身が意識して箸を使うようになりました。1月には独自の持ち方をしている幼児がほとんどいなくなり伝統的な持ち方に近づいてきています。

○家庭・地域に開かれた園づくり

老人クラブ、絵本ボランティア、小中学生などいろいろな人とかわる時間を大切にすることで、温かい気持ちにふれ、人に対する信頼感が育ち人とかかわる楽しさを感じて生活することができました。

今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切に、心豊かで元気な体の幼児を目指し努力していきたいと思つています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



播磨町家庭教育講演会

めざせ！ 蓮池ギネス



▲全校児童で挑戦します

蓮池小学校

蓮池小学校では、全校をあげて縄跳びの記録に挑戦しています。低学年は一回旋一跳躍、高学年は二重跳びです。標準記録を達成すると賞状がもらえます。

教師が声かけしなくても、休み時間に縄跳びの練習をしたり、縄跳びを家に持ち帰って練習したりしている子どももいます。また、縄跳びの目当てとして「なわとび進級表」があり、一つ一つの項目をクリアしようという気持ちで頑張っています。

心と体を鍛え、成長して欲しいと思います。○4年生児童の作文

この間、縄跳びの二重跳びをお父さんに教えてもらいました。お父さんにコツを教えてもらって練習したら、だんだん跳べるようになって、最高9回も跳べました。すごくうれしかったです。これからは、もっと跳べるように練習したいです。

クリーンアップ in はりま



▲みんなで播磨町をきれいにします

播磨中学校

去る11月28日(土)、「クリーンアップ in はりま」が行われました。この活動は「私たちの播磨町をきれいにしよう」と生徒会役員が企画し、全校生に呼びかけて行っているもので、ここ数年ずっと続いています。

この日は天気もよく、集まった生徒たちは、生徒会役員の指示に従って校区内各清掃場所を手分けして掃除をしました。喜瀬川土手や各公園の清掃、通学路のゴミや空き缶、ペットボトルの回収など、積極的に活動しました。おかげですべてすっきり、きれいになりました。地域の方から暖かい声をかけていただいたり、中には一緒に清掃してくださったりと、参加した生徒たちもほのぼのとした気持ちになりました。

校区内がきれいになるとともに、とてもさわやかな一日となりました。

芸術鑑賞会



▲ゴスペルコンサート!!

播磨南高等学校

12月17日(木)、芸術鑑賞会が行われました。昨年は「飛龍」の勇ましい太鼓に魂が躍る思いでしたが、今年度はゴスペルコンサートでした。

いざ始まると声量の豊かさやハーモニーの美しさに圧倒されました。体育館に歌声が響きわたるにつれ、この日は特別寒く、震えあがっていた人たちも客席と一体化したコンサートに熱く酔いしれました。気さくなメンバーの方々は、舞台にも我々の仲間を招き入れてくださった上に、舞台狭しと動き回られ、最後は大いに盛り上がりました。

早朝よりお越しいただき、このステージのために念入りに準備されたとお聞きし、歌を誰よりも愛する心とそのひたむきさ、そこから溢れるパワーを改めて感じました。本当にありがとうございました。

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

体験いっぱい修学旅行



▲けっこう難しいなあ…

播磨小学校

11月19・20日に広島へ修学旅行に行きました。前の週にインフルエンザで休んでいた人が多く、心配しましたが、当日は全員参加で天気もよく最高の出発となりました。

1日目は、課題別学習の日です。平和公園・広島電鉄・駅弁を調べたりインタビューしたりする組と広島焼き・もみじまんじゅう作りの体験をする組と江波山気象館で科学体験をする組の6グループに分かれ、それぞれがここでしかできない体験をすることができました。また、原爆ドームや資料館で核兵器の恐ろしさを目の当たりにしました。宿泊は広島神社のある宮島でした。

2日目は「みろくの里」で思いっきり友達と遊び、心にするべきな想い出をいっぱい詰め込んで帰ることができました。



なわとびに挑戦!!



▲とべた! とべた!

蓮池幼稚園

寒くて冷たい風にも負けず、外に出て友達と顔を見合わせると「ハァ」と一緒に息を吐いて「ほら、白いけむりが出てる」「わあ、ホントやあ!」と驚いて不思議に思う子供たちです。

「そむい」「手が痛い!」と話しながらも、みんなで一緒に体を思い切り動かす体操とマラソンで、だんだん暖かくなってきて、今日も元気パワーがいっぱい!

年中・年長さんはなわとびに挑戦!「一回でも多く跳べるようになりた」「次はケンケン跳びにも挑戦するよ!」と叫びながら、ピョンピョン!友達と一緒にいるんなら、友達と一緒にいるんなら、跳び方にも、繰り返しチャレンジして、心も体も強くなっています。



なわとび だーいすき!!



▲今日もたくさん跳ぶぞ!

播磨保育園

寒い朝でも、「ファイト! ファイト!」と子どもたちの元気な掛け声が響きます。

マラソンで体がポカポカしてくると、うれしそうになわとびを出してきて「ヤッター! 20回とべた!」「うしろとびもできるよ」「片足とび見て」とリズムカルに跳んでいます。子どもたちと一緒に考えた「がんばりカード」は、数字の順番に線を結んでいくと、子どもたちの好きなキャラクターになります。「もうすぐピカチュウの手ができるよ」「アンパンマンのかたちになってきた」と友達と見せ合い、出来上がるのを楽しみにしています。

さあ、明日は何回跳べるかな。

